

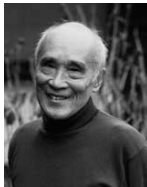
くまもと連詩

声がつながる 口承連詩の試み

「つながる」ということ。それは、離れているものが結ばれてひと続きになると言うこと。多くのものがひとつになるということは、そこに尋常ではない大きな力の存在を確認することができる。

今回、通常一人の詩人のみで唱う「詩」を、敢えて数人で繋げ、「連詩」というひとつの大きな物語を創ることで、それまで見たことも感じたこともない世界が生まれようとしている。そして、この地で連詩を奏するのは、日本が誇る詩人・谷川俊太郎氏、さらにアメリカ詩壇を代表する詩人・ジェローム・ローゼンバーグ氏といった、国内外各分野の第一人者たち。その絶妙なコラボレーションにより、清新な「連詩」が今、はじまる。

出演者プロフィール



谷川 俊太郎

詩人。1952年処女詩集「二十億光年の孤独」発表以来、日本の現代詩の先端を走り続ける。彼の詩は、現代詩の読者にとどまらず、日本語を使う人々の間にあまねく知れ渡り、愛されている。現代詩の他、「マザー・グース」や「ピーナッツ」などの翻訳、「わたし」「ことばあそびうた」など日本語を極限まで駆使した絵本群「鉄腕アトム」の歌詞や各校の校歌など、多岐にわたる。社会の政治的状況に対しても、常にリベラルな詩人として立場を表明。大岡信と共に連詩の指導的役割を果たし、2008年から熊本連詩の宗匠。



覚 和歌子

作詞家、詩人。宮崎駿監督の映画「千と千尋の神隠し」主題歌「いつでも何度でも」作詞でレコード大賞受賞。夏川りみ、新垣結衣、タカコ、平泉綾香、「崖の上のポニョ」のオープニング主題歌など、多くの詞作品を提供。また自作純粋詩の朗読ステージを国内外で精力的に展開。「朗読するための物語詩」という独自の分野を開拓し、評価を受けている。詩集「ゼロになるからだ」「海のような大人になる」(楽音)、エッセイ「絵本など著作多数。2008年谷川俊太郎と写真映画「ヤチタイカ」を共同監督。



ジェローム ローゼンバーグ

アメリカ詩壇を代表する詩人、朗読、音楽界や美術界の人々とのコラボレーションも盛んに行い、またエスノ・ポエティクス(民族詩)の概念を提唱し、北米先住民や非英語圏の口承文芸の表現をアンソロジーにまとめ英語圏の人々に紹介。詩集に「Poland/1931」(1974)「Triptych」(2007)、アンソロジーとして「Technicians of the Sacred」(1968)など、著書多数、受賞多数、各国語への翻訳も多数。長くカリフォルニア大学サンディエゴ校で創作とパフォーマンスを教えてきたが、退官後は旺盛に世界各地で朗読旅行。



四元 康祐

製薬会社の駐在員としてアメリカ、ドイツに在任経験。ビジネスマンとして働きつつ詩作活動をする。2003年、「夢みの午後」により第11回秋原勝太郎賞受賞。主な著書にビジネスや金融理論をテーマとした詩集「笑うバグ」、「世界中年会議」(山本健吉賞)、「対詩 魂の解」、訳にサイモン・アミーテージ「キッド」など。現在はドイツに在住し、世界各地の詩祭に参加。また、ロッテダムに本部をおく国際的な現代詩フォーラム「Poetry International Web」の日本エディターとして日本の現代詩を海外の読者に紹介している。



伊藤 比呂美

詩人。1977年に詩集「草木の空」でデビュー。セックスする性生む性としてのことばを武器に、80年代の女性詩「ブーム」をリードする。84年に熊本に移住。85年「良いおっぱい悪いおっぱい」で青鬼エッセイという領域を開拓し、日本の母親たちの教祖的存在となる。近著の「とけ置き新集鶴地蔵縁起」では、萩原朔太郎賞、読者部賞をダブル受賞。小説、エッセイ、現代詩と活動は多岐にわたる。国内外の朗読、講演も活発に行っている。現在はカリフォルニア在住。2005年に熊本文学隊を結成して初代隊長に就任。



ジェフリー アングルス

オハイオ州立大学にて日文学研究の博士号取得。15歳のとき交換留学生として山口県に暮らし、日文学研究者としての道を進む。現在、西シガン大学日本学コースの責任者。これまでの研究の主なテーマ、翻訳は、20世紀のモダニズム文学、映画、大戦中の同性愛文学など。日本文学(多田智子詩集)の翻訳に、ドナルド・キーン「日本研究センター」より2009年日米友好基金賞を受賞。2009年から2010年、国際日本文学センターに招聘される。現代詩の翻訳多数。翻訳は繊細かつ自在で、熱心なファンも多い。

入場無料

日時 2010年3月20日(土) 開場/午後1時30分 開演/午後2時

場所 青年会館ホール(熊本市総合体育館2階)

※入場には、事前のお申込が必要となります。尚定員になり次第、締め切らせて頂きます。(定員400名)
※当会場の駐車場はご利用いただけません。公共交通機関でお越しいただくか、熊本県庁南側外来駐車場をご利用ください。
利用可能時間帯 3月20日(土)13:00~17:00

お申込方法

往復ハガキでのお申込となります。住所・氏名・電話番号をご明記の上、下記まで応募ください。
県庁駐車場をご利用になる方は、駐車場希望とご明記ください。駐車印を押して返信いたします。
※駐車可能台数は300台までです。定数になり次第、締め切らせていただきます。ご了承ください。
※お一人様3名分まで応募できます。参加される全ての方の氏名をご明記ください。

応募先

〒862-8612 熊本県熊本市出水2-5-1 熊本近代文学館「くまもと連詩プロジェクト」行

応募締切

2月28日(日)必着

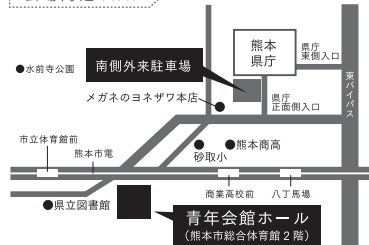
お問い合わせ先

熊本近代文学館 TEL 096-384-5000

文化庁「地域文化芸術振興プラン関連事業」

主催：熊本文学隊、熊本近代文学館、文化庁、熊本県、熊本県地域文化芸術振興プラン実行委員会

会場周辺MAP



会場の駐車場は利用できません。公共交通機関をご利用になるか、熊本県庁南側外来駐車場(会場まで徒歩15分)をご利用ください。